

「MEO対策ツール」のご案内



株式会社Bond

目次

- Googleビジネスプロフィール (GBP) とは
Googleビジネスプロフィール
- GBPが必須な理由
- 掲載順位を上げる方法と対策
- 運用課題
- 『Bond MEO対策ツール』が解決
ボンド エムイーオー
- 『Bond MEO対策ツール』の強み
ボンド エムイーオー
- 情報蓄積の重要性
- 料金プラン・オプション料金
- 導入フロー
- 会社概要
- 事例

Googleビジネスプロフィール(GBP)とは

Googleビジネスプロフィール (GBP) とは、Googleが提供する店舗型ビジネスの情報が掲載されている、Google上のページを指しています。(情報管理ツールを含む)

Google検索



Google Map



【掲載されている情報や機能】

- 店舗情報：店名/住所/営業時間/カテゴリ
- 投稿：最新情報
- 口コミ：内容ごとに自動分類/返信機能
- 注目のメニュー：口コミ投稿内容や画像数で自動設定
- 予約：リンク設定
- 写真：料理/内観/外観
- Webサイト：自社サイトとの情報統制

【アクセス分析】

- ・ 直接検索
- ・ 間接検索
- ・ ブランド名検索
- ・ ルート検索数
- ・ 電話数
- ・ Webサイトへのクリック数
- ・ 写真の閲覧数

過去のデータ参照が確認可能

★POINT：数値を可視化することで次に何を対策すべきなのかがわかるようになる



Googleビジネスプロフィール

GBPはビジネスオーナーだけでなく**一般ユーザーも変更する事が可能です。**

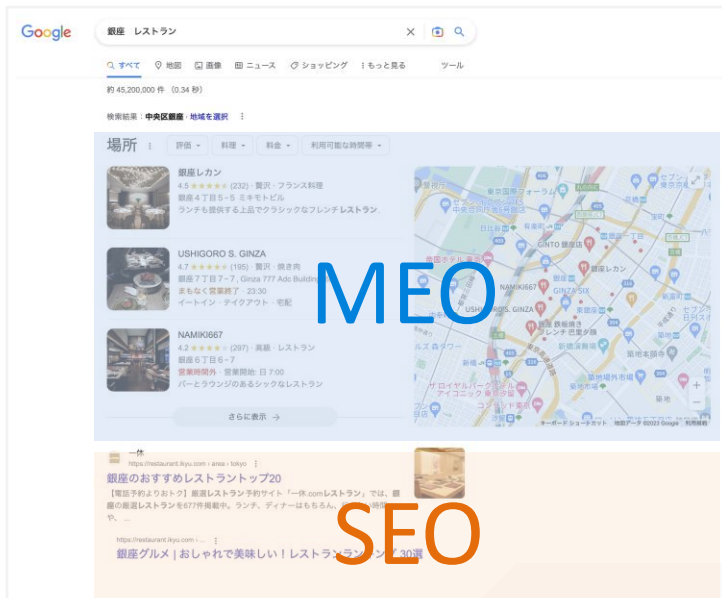
競合店が悪意のある変更/改ざんをするケースもありますので常時監視し、誤った情報を修正をする事で集客機会を逃さずに運用できます。(ユーザーの情報変更に対して一定期間回答をしないと変更が適用されてしまいます)

GBPが必須な理由①

理由①

Googleで検索結果の最上位にGoogleMAPが表示されるようになった。
その影響でGoogleMAPへのアクセスが急増したためにGBPが必須になった。

例：Googleで「銀座 レストラン」と検索



この図からもわかるように、店舗型ビジネスを検索した際にGoogleビジネスプロフィールGBPおよびマップの情報から表示されるようになりました。この検索結果の上位にあなたの店舗を表示させることで、集客の影響を高めることが可能となります。

※マップの検索に対して上位表示させる対策のことを一般的にはMEO対策と呼びます。
※同じく、オーガニック検索における検索キーワードの対策を施すことでサイトを上位に表示させる仕組みのことをSEO対策と呼びます。

日本において(世界的にも)、現在最もユーザー数の多い検索エンジンはGoogleである。
そのGoogleがサイトの仕様を変更したことにより、
Googleにおける検索結果の上位にはGBPが表示されるようになった。
このことにより、自社で制作したサイトよりもGBPがユーザーの目に留まりやすくなった。
つまりGBPがあなたのビジネスにおいて、収益を上げるうえで重要な要素のひとつとなった。

GBPが必須な理由②

理由② Googleはユーザーが店舗検索をする際の必須ツールとなった。店舗の予約機能も実装されたことで利便性がより向上した。

【検索機能の利便性】

店舗における (1)営業時間 (2)利用する際の目安になる単価 (3)カテゴリ (4)他のユーザーから評価などの絞り込みが容易になり、検索の目的を達成し易くなった。

【予約機能の面】

Googleから直接店舗への予約が可能になった。他の媒体の予約システムに直接繋ぐことも可能で、ユーザーにとっての利便性が向上している。

その使いやすさからGoogleMAPおよびGBPは、**世界NO.1のインバウンド対策サービス**でもある

<有効なインバウンド対策のPOINT>	Google MAP	エキスペディア(他媒体)
利用者数/ユーザー数	10億人以上	1億4500万人
情報量/質	全業種対応	業種が限られる
例) 日本で外国人に人気のあるホテル リッツカールトン京都ロコミ	1,696件	199件
言語対応数	81か国以上に対応 (1,000以上業種を自動翻訳)	33か国対応
国内ユーザーへの訴求	◎	×



国内ユーザーと外国人訪日客の双方に有効なサービスはGoogleMapおよびGBPのみ

GBPが必須な理由③

理由③ GoogleがMAP機能を、今後も世界的に強化すると宣言している

GoogleがMAPへのローカル情報集約を世界的に強化しているため、GBPへの早期対策は中長期的な集客メリットになる可能性が極めて高い。



- 2011年→2018年：ローカル検索50倍へ
- 2018年：Google検索結果においてMAPがリスティングを抜いて最上位へ
- 2018年以降：GoogleMAPが**急速に進化**
- 2019年：ゼンリンとの提携を解除し独自MAP構築し、進化が加速
- 2022年：飲食店検索ツールとして利用率は、Googleがグルメサイトを抜いて初めてトップに。

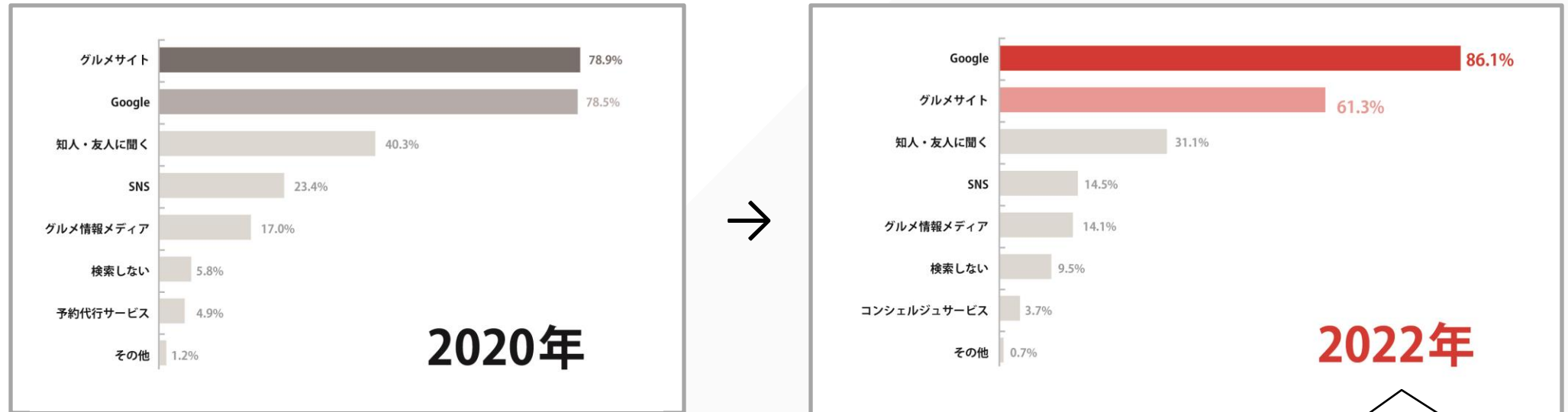
Googleのアップデート

- 2019/10 . . . Googleマップがアプリを強化、iOSからも事故や交通取り締まりをレポート可能に
- 2019/11 . . . 日本のGoogleマップが「オフラインマップ」に対応。
- 2020/2 . . . Google、地図アプリの機能強化【利用者の声】を反映。
- 2020/12 . . . Googleマップに店舗オーナー向けのコミュニケーション機能を強化。専用アプリを不要に。
- 2021/3 . . . GoogleマップがAIで劇的進化（ライブビュー室内をナビ、エコフレンドリールート検索、ピックアップ対応強化）
- 2021/5 . . . ARで屋内案内や店外受け取りGoogleマップが小売支援
- 2021/5 . . . Googleマップにまもなく新機能、急ブレーキを避ける経路案内や地域ごとの混雑度表示等
- 2021/8 . . . Googleマップがアップデート、iMessageでの位置情報共有等純正マップのライバルに
- 2021/10 . . . Googleマップに新機能が追加（山火事情報、気候変動対策、住所割り当て）
- 2022/5 . . . グーグル、夏の旅行に向けた新機能を続々、航空運賃では安値をアラート通知、「近くを検索」を強化
- 2022/5 . . . 「没入型ビュー」などの新機能追加。イマーシブビューでレストランの混雑状況も確認可能に。
- 2022/8 . . . 新機能、現在地の共有により友人の到着と出発を自動でお知らせ。
- 2022/9 . . . ライブビューで付近の施設検索が可能に（レストラン/ATM検索など）
- 2022/10 . . . これから行く場所の雰囲気を教えてくれるGoogleマップの新機能「Neighborhood vibe」
- 2022/11 . . . ライブビューでのスポット検索機能を強化（EV充電ステーション/車椅子移動可能経路検索等）

GBPが必須な理由④

理由④ ユーザーがお店を探す際の手段が変化した (例：飲食店)

テレ朝調べ：https://news.tv-asahi.co.jp/news_economy/articles/000265194.html



引用：「グルメサイトに関するユーザー＆飲食店意識調査」(株)テーブルチェック1650名を対象にした調査
(20～60代の全国の男女1100名と、20～50代の飲食店に勤務する全国の男女550名)
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000085.000023564.html>

ユーザーは
お店を利用する目的ごとに
検索する際の手段を決めている

アンケート結果により【**飲食店を探す手段**】としてはGoogle検索がトップとなっております。
ただし【**飲食店の見極め方**】としてはグルメサイトの方が優秀であることがわかります。
つまり店舗検索の【**入り口**】はGoogle検索で、予約や来店など決め手とその【**出口**】をグルメサイトとすることで、
集客効果を最大化できることがわかっております。その双方を、今回ご紹介するシステムで網羅することが可能です。

弊社ではネット予約専用他媒体の固定費無料プランもご用意しておりますのでご相談ください。

掲載順位を上げる方法と対策

※何が対策で何をすれば順位が上がるのか？

・ Googleマイビジネスの登録を充実させる

①会社の正式名称 ②カテゴリ ③住所 ④営業時間 ⑤特別営業時間 ⑥電話番号 ⑦ウェブサイトURL ⑧属性

・ NAP情報を統一する

①Name：会社名または店舗名 ②Address：住所 ③Phone：電話番号

・ 適切なカテゴリーを設定する

→メインカテゴリーだけではなくサブカテゴリーも漏れなく登録する

・ 魅力が伝わる写真を掲載する

①外観の写真 ②店内の写真 ③商品の写真 ④サービスの写真 ⑤食べ物や飲み物の写真
⑥共有エリアの写真 ⑦客室の写真 ⑧チームの写真 ※写真は各3枚以上が必須

・ 良い口コミを増やす

・ 口コミを管理する

・ 口コミに返信をする

・ 情報を常に最新な状態にする

・ ユーザーにメリットのある情報を定期配信する



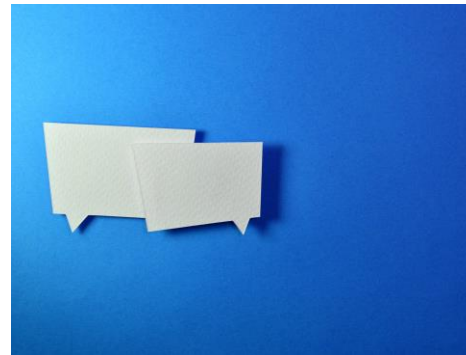
運用課題

対策項目がわかっても通常業務をやりながらだと厳しい



投稿

通常業務をしながら、
漏れずにキーワードを
入れて投稿できるか？



口コミの返信

通常業務をしながら、
口コミ返信を漏れずに
返信できるか？



更新

通常業務をしながら、
更新し続けられるか？



質の担保

一定以上の更新の質を
担保できるか？

『Bond MEO対策ツール』が解決

運用課題を『Bond MEO』が解決いたします。



解決 1

検索に対応したキーワードを入れた投稿文章を事前に作成 & 予約投稿



解決 2

ユーザーがそのお店を評価した☆の数に対して指定された文章による自動返信



解決 3

SNSとの連携機能により、更新頻度を多くする

上記3つを漏れなく、規則正しく実施することで、
Google ビジネスプロフィール側からのあなたのGBPに対する評価が上がる



ボンド エムイーオー

『BondMEO対策ツール』の強み

運用課題を『Bond MEO』が解決いたします。

	Bond	A社 (他社)	B社 (他社)	C社 (他社)
素材提供 (バナー)	○	×	×	×
予約投稿・口コミ自動返信	○	○	○	×
SNS連携	○	○	×	×
レポート提出	○	○	○	○
初回ページ構成	○	○	×	×
月1回の打ち合わせ	×	○	×	×
価格帯	安	高	中	安

情報の蓄積が大切

Googleは更新頻度や情報の質、口コミの数などアクティブな情報を検索結果の上位に表示させることがわかっています。これらをクリアできるビジネスが成功できる傾向が極めて高いことがわかります。つまり、日々のGoogleに対するアクションの継続こそが、あなたのビジネスの収益につながるのです。

Googleビジネスプロフィール

GBPの情報充実化および、投稿などの『情報の蓄積』はビジネス収益化の資産となる。さらに未来の集客や情報拡散にも影響を及ぼします。



今すぐMEO対策を導入した場合

対策効果が継続する期間

3年後にMEO対策を始めた場合

無駄になる期間



対策効果

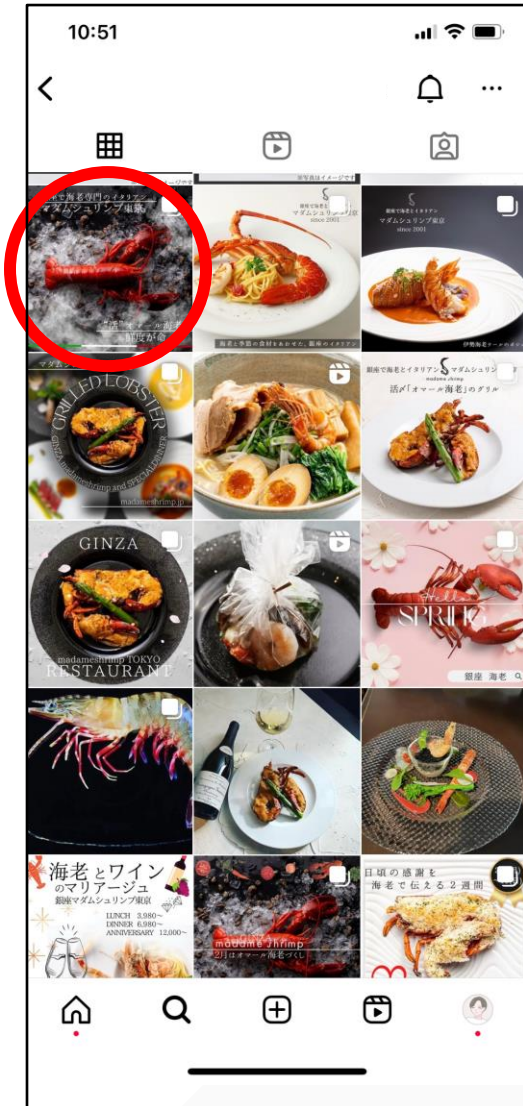


早い段階で導入した店舗が有利!!

	解約時	蓄積効果
Googleマップ	情報はすべてそのまま残る	情報が蓄積されるほどユーザーの検索ワードに適応する幅が広がる
広告メディア	表示されなくなる、もしくは掲載順位が下がる	掲載期間が長いからといって、特別な待遇はない

※蓄積効果のあるマーケティングは同じ費用をかけるなら早い方が良い

バナーが24枚もプレゼントされるのはBondだけ



※Instagram投稿



※GBP最新情報投稿

バナーとは...

ウェブページ上でサイトの情報を目立たせた紹介する役割をもつ画像(アイコンの一種)のこと。

本来の英語だと、旗印を意味し、ウェブページ上で広告が目立つように使われたことから、この通名で呼ばれ定着した。

『バナーの有効性』

毎日とてつもない数の投稿がされるSNS。その投稿の中に一際目立つ投稿や広告を発信することで、**集客や認知拡大効果が最大**になることがわかっている。

このバナーは、特にInstagramの投稿や広告でその威力を発揮する。

さらにこのバナーをGBPにも投稿することで、上記で説明したSNSと同じ集客効果を期待することができる。

BondのMEO対策ツールにオプションを追加することで、SNSとGBPの両方に**完全に自動**でこのバナーを定期的に配信する機能を備えることも可能となる。



ベーシックプラン・オプション料金

基本料金

33,000円 / 月 (税込)

初期費用 (ページ構成が必要な方のみ) 11,000円 (税込)

キーワード対策数 4ワード

予約投稿 4回/月

バナー提供 24枚 (半年ごとに12枚)

契約期間 12ヶ月

オプション

弊社通常価格 ~~10,000円~~ / 月 (税込)
▼
契約者様限定 **5,500円** / 枚 (税込)

バナー追加
1枚追加毎

キーワード追加 2,750円 / 月 (税込)
1キーワード追加毎

予約投稿追加 2,750円 / 月 (税込)
1投稿追加毎

初期費用

11,000円 / 初月のみ (税込)

お支払い方法・・・クレジットカード
お支払い日・・・月末締め/翌月25払い



ライトプラン・オプション料金

基本料金

27,500円 / 月 (税込)

初期費用 (ページ構成が必要な方のみ) 11,000円 (税込)

キーワード対策数 4ワード

予約投稿 4回/月

バナー提供 0枚

契約期間 12ヶ月

オプション

バナー追加

1枚追加毎

弊社通常価格 ~~10,000円~~ / 月 (税込)

▼
契約者様限定 5,500円 / 枚 (税込)

キーワード追加

1キーワード追加毎

2,750円 / 月 (税込)

予約投稿追加

1投稿追加毎

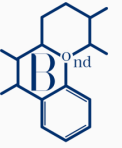
2,750円 / 月 (税込)

初期費用

11,000円 / 初月のみ (税込)

お支払い方法・・・クレジットカード

お支払い日・・・月末締め/翌月25払い



OEMプラン・オプション料金

基本料金

11,000円 / 月 (税込)

初期費用 (ページ構成が必要な方のみ) 11,000円 (税込)

キーワード対策数 2ワード

予約投稿 0回/月

バナー提供 0枚

契約期間 12ヶ月

オプション

弊社通常価格 ~~10,000円~~ / 月 (税込)
▼
契約者様限定 **5,500円** / 枚 (税込)

キーワード追加 2,750円 / 月 (税込)
1キーワード追加毎

予約投稿追加 2,750円 / 月 (税込)
1投稿追加毎

初期費用

11,000円 / 初月のみ (税込)

お支払い方法・・・クレジットカード
お支払い日・・・月末締め/翌月25払い

導入フロー

「Bond MEO」を導入するまでの流れ

STEP 1

お申し込み受付



STEP 2

ご契約



お伺いした情報を元に
クラウドサイン送付

STEP 3

支払方法の登録



登録メールアドレスに
URLを送付(クレカ)

STEP 4

GBPアカウント
作成



※ 登録フロー送付
既にアカウントを
お持ちの方はスキップ

STEP 5

GBPアカウント
権限付与



弊社指定のアドレスを
店舗アカウントに追加

STEP 6

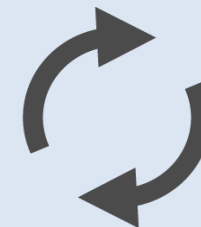
写真やメニューを
共有



写真は投稿用で使用。
メニューはページ構築で使用。
変更ない場合は写真のみ

STEP 7

運用開始



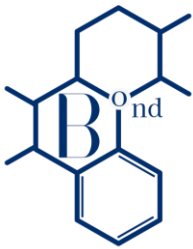
開始後10日前後に
バナー送付

THANK YOU

最後までお読みいただきありがとうございました。
コロナ禍でも売上を伸ばしているビジネスですので、
是非お取り扱いいただければ幸いです。

詳しい営業活動の方法や収益例をご紹介しますので、
以下担当までお問い合わせください。

Email : info@bond-nts.jp



会社名 株式会社Bond

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座8-4-27 B2F

代表者 南雲正樹

設立 2023年2月15日

事業内容

1. 経営管理・事務・財務・営業の業務請負業及びコンサルティング
2. インターネットを利用した各種情報提供サービス
3. 各種イベントの企画、制作、運営、管理
4. 広告代理業又は広告業
5. 広告、宣伝に関する企画並びに制作・販売
6. コンピューターによる広告宣伝物、印刷物等の企画、デザイン並びに製作・販売
7. ハードウェア・ソフトウェアの制作及び販売
8. 食品卸売業及び小売業
9. ソフトウェア販売
10. 前各号に附帯関連する一切の事業

グループ会社が運営するレストランのご紹介

2019年まで好調な業績だった本店舗は、
コロナ禍で集客に対しての大打撃を喰らうこととなった。

この状況がいつかは収束することを願い、
事態が落ち着いた後の**集客準備**として
『**MEO対策ツール**』の導入に踏み切った。

結果としてコロナ禍以前よりも多くの人を店舗集客に成功。

